HOTEL 椿山荘 TOKYO
CHINZANSO

概　要

＊こちらは2026年11月時点の概要情報でございます。以後変更になる場合もございます。ご了承ください。

名　称：	ホテル椿山荘東京 英語名：Hotel Chinzanso Tokyo 簡体字：东京椿山庄大酒店 繁体字：東京椿山莊大酒店 韓国語：호텔 진잔소 도쿄
所在地：	東京都文京区関口2-10-8
電話：	電話（03）3943-1111
開　業：	1952年（昭和27年）11月11日 ※2013年（平成25年）1月1日より、隣接していたホテル施設と統合し「ホテル椿山荘東京」へ名称変更
経　営：	藤田観光株式会社
総支配人：	千尋　智彦
インテリア設計：	㈱観光企画設計社、インテリア興喜（和食レストラン）、 IC Works（スパエリア、客室の一部）、 Frank Nicholson Inc.,（ホテル棟ロビー、客室他）、 Hirsch & Bedner（トリートメントエリア） ㈱日建スペースデザイン （バンケット棟ロビー、カフェ、ビューバススイート他） ㈱日本設計（セレニティ・ガーデン他） ㈱age、㈱240 design studio、㈱blue quince（プライムフロア） アーク・ビルド㈱（エグゼクティブラウンジ）
建設面積：	12,558 ㎡（3,798坪）
延床面積：	84,867㎡（25,672坪）

立地環境：　ホテル椿山荘東京は、東京目白台・関口エリアに位置している。東京の中心部にありながら都会の雑踏から隔離され、広大で風光明媚な庭園が織り成す四季折々の自然と歴史的風情に囲まれたホテルである。

施設概要：　ホテル椿山荘東京は、ホテル棟、バンケット棟の2つの建物と、広大な林泉回遊式庭園からなるラグジュアリーホテル。265室の客室、38の宴会場、5つの挙式場、8つのレストラン、スパがあり、宿泊、食事、宴席、婚礼などの場を提供する。特に婚礼施設は充実しており、ブライズルーム、美容室、衣裳室のほか、列席者向けの施設も整う。

庭園の歴史は古く、かつて「つばきやま」と呼ばれ椿の景勝地として親しまれた地を、1878年（明治11年）に明治の元勲山縣有朋が私財を投じて購入。邸宅と庭園を築き「椿山荘」と命名した。

庭園様式は、林泉回遊式庭園（広い芝生地や池・築山･曲水の沢飛びを渡り、広大な樹林地へと移り変わる景色を眺めて一回りすると、一巻の絵巻物を見て終わるという趣向の庭園）。「つばきやま」のもともとの地形を生かして作られた。

邸宅と庭園は、1918年（大正7年）、当時関西財界で主導的地位を占めていた藤田組の二代目当主藤田平太郎男爵が、各界から名園と評された庭園をありのままに残したいと言う山縣有朋の意志を受け継ぎ、譲り受けた。

その後、1945年（昭和20年）の空襲で、山縣有朋の記念館や一千坪の大邸宅、樹木の大半が灰燼に帰したが、1948年（昭和23年）、藤田鉱業（旧藤田組）から藤田観光の前身である藤田興業の所有となり、創業者となった小川栄一が「戦後の荒廃した東京に緑のオアシスを」の思想の下、一万有余の樹木を移植し、椿山荘の復興に着手。

そして、1952年（昭和27年）11月11日。ようやく完成した椿山荘で盛大な披露パーティーが行われ、以来結婚式場の名門として、また大小宴会や日本を代表するガーデンレストランとして営業している。

1992年（平成4年）1月16日には、フォーシーズンズホテル＆リゾーツ社と藤田観光の提携のもと、敷地内にアジア初となるフォーシーズンズホテル椿山荘 東京が開業。2013年1月1日より提携を解消し、両施設が統合。「ホテル椿山荘東京」として運営を開始した。

庭園内には数多くの史跡が存在する。庭園の象徴でもある「三重塔」は、広島県賀茂郡河内町入野の山上伽藍、篁山竹林寺にあったものを、縁あって、1925年（大正14年）に藤田平太郎男爵が解体し、移築した。2010年から2011年（平成22年から23年）には平成の大改修が行われ、塔を未来に受け継ぐための耐震補強と修復を執り行い、初重にご本尊の聖観世音菩薩が奉安された。

そのほか、御神木（樹齢約500年の椎）、十三重の石塔、般若寺式石灯籠、古香井、庚申塔、羅漢石、筆塚、白玉稲荷神社、椿山荘の碑、丸型大水鉢、七福神、五丈滝、東京雲海など見所が多数あるほか、四季折々の自然の彩りを見ることができ、冬は椿や雪景色、春は桜、初夏には新緑や蛍、夏には涼夏・深緑、秋は紅葉と、日本人の愛する美しい情景を楽しむことができる。

また、「フォーブス・トラベルガイド」が発表した格付けの「ホテル部門」・「スパ部門」では4 つ星を獲得。2017年7月20日からは、独立系ホテルブランドの世界最大ネットワーク「プリファード ホテルズ＆リゾーツ」に加盟している。

客室概要：　ホテル椿山荘東京の客室は、ホテル棟の5階から14階までの総客室数265室。標準的な客室面積は45㎡で全体の74％の197室を確保している。夜景を望むシティビューと、森のように広がる樹々と水の恵みが織り成す日本の四季の美しさが広がる庭園を望むガーデンビューとがあり、どちらからも美しい眺望を楽しむことができる。

すべての客室に、ゆったり寛げるソファー、大型のライティングデスク、冷蔵庫、高速インターネット回線、Wi-Fi、電話を標準装備。バスルームは16㎡あり、バスタブ、シャワーブース、ウォシュレット付きトイレを独立設置し、バスローブ、小型テレビ、ヘアードライヤー、各種アメニティ、ライト付き化粧鏡等を備えている。また、心地よい眠りのために、綿100％のファブリックやカスタムメイドのマットレス、選択可能な枕など全室に工夫を施している。

客室サービス：　和食から洋食まで揃うインルームダイニングをはじめ、1日2回のメイドサービス、自社工場によるオーバーナイトランドリーサービス、無料のシューシャインサービスなど、快適なホテルライフのためのあらゆるサービスをきめ細かく提供する。

インルームダイニング　：有

プライベートバー：豊富な種類の飲み物やスナックを揃えたミニバー
（スイートルーム以上）

貸出サービス：ブルーレイプレーヤー、空気加湿清浄機など

モーニングコール：オペレーターによるモーニングコール

深夜の客室間の電話への配慮：間違い電話防止のためにオペレーターが
おつなぎする（深夜0:00～5:00）

ボイスメールの設置：有

ランドリー・プレス：ワンアワープレス、オーバーナイト等

メンディングサービス：衣類の修繕（一部無料）

電動アシスト自転車のレンタル：1回5時間まで（有料）

お子様向けサービス：・正規室料で宿泊の両親またはそのいずれかと同じ部屋に宿泊の12歳以下のお子様のご宿泊料は無料です。エキストラベッドをご希望の場合は、別途有料となります。

・ベビーベッド、ぬいぐるみ、ベビーローション、
ベビーシャンプー、ガーゼを籠に入れたキットの用意

・ボトルウォーマー、 哺乳ビンなどの各種備品の貸出

福祉用具の貸出：車椅子、入浴いす、バスボード、浴槽手すり、トイレ手すり、ベッドサイド手すりなど

ペットの宿泊：小型犬もしくは猫で、体重10kg（スイートルームは13kg）以下のペットとの宿泊が可（有料）

無料の氷サービス　：客室フロア各階（6～14階）に設置

ジョギングを楽しむ方へのサービス：無料のおしぼり、ミネラルウォーター、
マップの用意

バラエティに富んだウェルカムバックアメニティーをご用意

再来時からは、署名のみによるスピードチェックイン

エキスプレスチェックアウト／フレックスチェックアウト

お好みの朝刊／夕刊の無料サービス

（新聞5紙、東京新聞、スポーツ紙、英字新聞）

エグゼクティブラウンジ「ル・シエル」（2024年7月オープン）：

スイートルームゲスト専用ラウンジ

・専任スタッフによるチェックイン・チェックアウトサービス

・フードプレゼンテーションとドリンク　等

飲食施設：　*イタリア料理「イル・テアトロ」　ホテル棟3階*

ダイニングからは広大な庭園が眺望でき、ヨーロピアン・エレガンスのクラシック調インテリアの内装に、ベネツィアングラスのシャンデリアが、優雅なひとときに彩りを添える。＜IL TEATRO＝劇場＞の名の通り、舞台の一幕を楽しむように、厳選された新鮮な素材を活かした本格的イタリア料理が楽しめる。ダイニング席（82席）の他に、大小2つの個室（2～12席）も用意されている。

料亭「錦水」　庭園内

庭園内に建つ、数奇屋造りの料亭。日本文化香るシンプルながらも洗練された空間には、2名から60名までの大小10の個室がある。さらに、庭園内にある2つの別邸（残月、長松亭）を個室として利用でき、そのすべての個室から庭園を眺めることができる。お祝いの食事会や接待、結納などに、場面に合わせた会席料理を用意。

※残月：箱根小涌谷の藤田男爵の別荘に男爵が表千家の茶室「残月亭」を写して建築したものを、1947年（昭和22年）に移築。2004年（平成16年）、国登録有形文化財（建造物）に指定。

※長松亭：電力業界の長老松永安左ヱ門翁に設計を依頼して完成した、松永翁好みの四畳枡床向切逆勝手（よじょうますどこむこうぎりぎゃくかって）の茶室。1954年（昭和29年）建築。現在はこちらをベースに一部改築を加え、錦水内の個室として利用できる。

日本料理「みゆき」　ホテル棟2階

器の中に旬の素材の彩りを鮮やかに映し、美しく盛り付けられる日本料理。伝統に育まれた、味の芸術ともいえるその繊細な味覚を、日本の風雅を再現した店内で、四季折々に美しい庭園を眺めながら楽しめる。外国からのお客様にも使い易いテーブル席、カウンター席を設置。全110席。ダイニング席（72席）、鮨カウンター（8席）、鉄板焼きカウンター（8席）、個室5室（2～10席）。

石焼料理「木春堂」　庭園内

庭園の木立の奥にひっそりと佇む、日本家屋を改築した「木春堂」。富士山の溶岩プレートで和牛や魚介類を焼き上げる石焼料理を会席スタイルでご用意。個室は、五慶庵（二階建て）、残草、尚庵、中庵の4つの由緒ある家屋を利用。ダイニング席52席、個室5室（2～20席）。

※木春堂：五島慶太翁*所有の神奈川県足柄上郡の中津川渓谷沿いにあった田

舎家を譲り受け、1953年(昭和28年)に移築。

*五島慶太(1882～1959) 長野県出身の実業家。東急電鉄を中心とする東急グループの創立者。当社創業者小川栄一の郷里の先輩であった。

※五慶庵：京都二条城前にあった三井邸を譲り受け、昭和29年(1954)に移築。五島慶太翁の名前より命名。

※残草：1953年（昭和28年）に椿山荘本館を建てるときの残材を使って作られた日本家屋。数少ない山縣有朋の品、実筆の書「任重脱朝衣」が掛けられている。

※尚庵：阪急電鉄などの阪急東宝グループ創始者の小林一三に設計を依頼して完成させた茶室。

※中庵：明治から昭和の実業家、藤山雷太氏別荘の茶室を1951年（昭和26年）に移築。

カジュアルダイニング「ザ・ビストロ」　ホテル棟3階

気軽に食事を楽しめるラグジュアリーなオールデイダイニング。軽食からコース料理まで、エレガントな雰囲気の中でゆったりと味わうことができる。ワインも手頃な値段で豊富に取り揃えている。44 席。

メインバー「ル・マーキー」　ホテル棟2階

気品あるマホガニー調に統一された室内は、ヨーロッパの邸宅のような重厚かつ落ち着いた雰囲気。大人の隠れ家的なメインバーでお寛ぎのひとときを楽しめる。55席。

ロビーラウンジ「ル・ジャルダン」　ホテル棟3階

庭園の眺望を活かしたロビーラウンジ。時間ごとにメニューが用意され、午後には英国式のアフタヌーンティーが楽しめる。夜はバーとしても機能する。庭園を見渡すテラス席もある。110席。

鰻専門店　奈良菊水楼「うな菊」

2023年3月、「うな菊」の東京初店舗として招致し、ホテル椿山荘東京店が庭園内〔無茶庵跡（※）〕にオープン。32席。

明治24年（1891年）奈良県で誕生した「菊水楼」は、国内外からの賓客をお迎えできる場所として多くの貴人、要人に愛されてきた。「ここへ訪れることが名士の証」と謳われる老舗料亭。季節ごとに最もおいしい国産鰻を厳選し、持ち味を余すところなく引き出す料理の一部として人気を博していた「鰻」料理を、より多くのお客様に楽しんでもらいたいという想いから、2016年に鰻専門店として「うな菊」が誕生。2023年、東京初出店を果たす。

※無茶庵跡：現在、奈良菊水楼「うな菊」ホテル椿山荘東京店があるこの建物は、長く「無茶庵」として親しまれてきた。もと文京区林町にあった紅葉旅館の離れだった旧・某氏邸を譲り受け、1954年(昭和29年)に移築。北側は一部増築したが、入口から南側の部分には手斧（ちょうな）やくさびを使用していた

痕跡が見られることなどから、室町期、太田道灌の活躍していた時代に作られたものと伝えられている。藤田観光㈱創業者の小川栄一は、松永安佐ヱ門翁、五島慶太翁などのすすめにより、翁たちとともに椿山荘に茶室を設けた際にこの建物に「無茶庵」と名付けたという記録がある。

宴会・会議場：　ホテル椿山荘東京の宴会場は、大規模から小規模まで対応するとともに、会場スタイルの多彩さ、そしてクオリティー面で特長を打ち出している。最大2,000名まで利用できるグランドホール 椿、庭園に面したホワイエを持つ優雅なボールルームなど、ビジネスミーティング、会食・婚礼などに最適な宴会・会議場を、大小38会場備えている。

グランドホール 椿　バンケット棟　5階

常設ステージ、7色に変化するシャンデリア、音響、映像設備を整えた大規模会場。大型リフトを備え、自動車の展示やディナーショーまであらゆる催しに対応。着席で770名、立食で2,000名、天井高6.2m、1,350㎡の広さを持つ。

ボールルーム　ホテル棟1階

洗練されたバンケットスペース。着席で300名、立食で500名、美しい庭園に溶け込むホワイエを併せれば1,000名までの利用も可能である。天井高6m、634㎡の広さを持ち、ヨーロピアンエレガンスをテーマにした豪華な内装を備えた他に類を見ない宴会場。

アンフィシアター　ホテル棟4階

都内のホテルでは初の階段状会議室。225㎡で98名収容でき、重要な国際会議が行われることを想定した、最新鋭かつ最高水準の先端機能が充実している。160インチの大画面スクリーン、同時通訳ブースなど、国際会議はもちろん新製品発表会、医学会、プロモーションビデオ発表試写会、コンピューターソフトの発表説明会等々、幅広く活用可能である。大型の椅子や各席専用の電源／LAN等、長時間の利用にも快適な環境が備わる。

ほか

テラス：　庭園内に「スカイテラス」「ヴェルデテラス」とあり、飲食のないレセプションや写真撮影などに利用できる。

「空中庭園～セレニティ・ガーデン～」はホテル棟5階部分に位置し、オープンエアでの人前式や簡単な飲食を含むパーティー、イベント等に利用できる。

ドッグパーク：　ホテル棟5階部分の空中庭園にある、ホテル滞在中に外気に触れられ、思いっきり走れ、わんちゃんが一層快適にホテルライフを過ごせる「プライベートドッグパーク」（約40㎡・水場＆遊具設置）。

式場：　ホテル椿山荘東京では、様々なウエディングシーンの演出に対応する式場を用意。チャペルは、庭園内に2つ。神殿は、バンケット棟内に1つ、ホテル棟内に1つ、庭園内に1つ。

ブライズルーム： 花嫁が結婚式当日の支度をするプライベートルームを完備。すべての花嫁が個室にて支度ができ、挙式、披露宴の合間の休憩をとることができる。

婚礼付帯施設： 婚礼に必要なアイテムを館内にて見て、選ぶことができる。衣裳、美容、引出物、演出、装花、司会などの打ち合わせをすべてホテル内で対応する。

写真室： 婚礼はもとより、七五三や成人式などのお子様の節目のお祝いやご家族の記念日の撮影を承る写真室を2施設保有。

スパ・ウェルネス施設：

SPA, FITNESS & TREATMENT

悠 YU, THE SPA

リゾート感覚が味わえる伊豆・伊東の本物の温泉を使用したスパ、最新の器具を揃えたフィットネスジム、開閉式の天井を持つ全天候型温泉プール、ジェットバス、サウナ等を備えたヘルスクラブ、8室のトリートメントルーム、190年の歴史を誇るゲラン パリの名門エステティックサロン「ゲラン」そしてヘルシーメニューを用意したラウンジからなるスパ・スポーツ施設は、十分にトレーニングされた専任のインストラクターによる、ソフトメニューに重点を置いたハイグレードなクラブである。

ショップ： ブティックや美容室などのテナントの他、オリジナルグッズやホテルメイドのパンやケーキを販売する直営ショップ「セレクションズ」を営業している。

コンシェルジュサービス：

ホテル内のあらゆるご案内、都内催し物、観光情報、各種チケットの手配、旅行相談・手配、レストランなどの紹介、予約を代行（一部有料）。

産後ケアサービス「AMATERASU」：

2024年2月、『AMATERASU（アマテラス）』ブランドと提携し、産後ケアサービスを開始。パートナーやきょうだいまでがアクセスできる客室、24時間体制のベビーケア、産後ママのための薬膳スープ、専門家による授乳ケア、育児講座など、産後ケアサービスを提供。

各種サービス：バレットパーキングサービス ：有料で車を駐車・出庫するサービス

手洗い洗車サービス：ボディー、ボディー&ルーム、ボディー

コーティング　カーウォッシュの3種類より（有料）

ベビーシッターサービス：コンシェルジュがベビーシッター手配をし、

ホテル内託児部屋にて預かる（有料/事前予約）

無料の傘の貸し出し：正面玄関、庭園出入口にて

ＪＲ池袋駅間の無料シャトルバスの運行（土日祝日のみ）

バリアフリーへの取り組み：多目的トイレ：バンケット棟2階、ホテル棟4階
ユニバーサル仕様ルーム（客室）：スーペリアルーム3室
授乳室の設置：バンケット棟B1階、ホテル棟1階
車椅子での庭園観賞ルートの整備
ジェンダーフリートイレ：バンケット棟2階、ホテル棟5階

アクセス：　東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」1a出口より徒歩約10分
同駅からは文京区のコミュニティバス「B-ぐる」で4分
JR山手線「目白駅」より都バスにて約10分
各駅よりタクシーで、JR/東京メトロ有楽町線・東西線・南北線「飯田橋駅」（15分）、東京メトロ丸の内線「茗荷谷駅」（7分）、東京メトロ東西線「早稲田駅」（8分）、東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷駅」（5分）
首都高速5号線「早稲田ランプ」または「東池袋ランプ」より車で約5分
ホテルから成田国際空港まで車で90～120分。JR東京駅より成田エクスプレスを利用すると60分。エアポート・リムジンバスで120分。

駐車場：　収容台数 300台
30分500円　※入庫より30分は無料
※宿泊の場合は1泊2,000円 （バレットパーキングは別途2,000円）。
※挙式・結婚披露宴・宴会・会議でご来館の場合は8時間まで無料。
※その他ホテル内の施設で3,000円以上ご利用いただくと3時間まで無料。
30,000円以上ご利用いただくと6時間まで無料。

本件に関するお問い合わせ先：
ホテル椿山荘東京
マーケティンググループ　岡野
TEL. 03-3943-5506
E-mail: pressroom@hotel-chinzanso.com
URL: https://hotel-chinzanso-tokyo.jp